

大江校だより

「チャレンジ」と「関わり」を楽しみ、「自己決定」する子どもを育てる

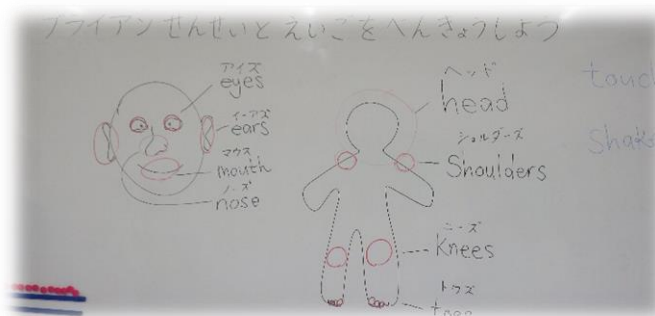
令和2年7月29日（水）
山形県立
楯岡特別支援学校大江校
第3号文責 教頭（相沢）



保護者の皆様、地域の皆様には日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。この1学期、皆様からの御協力のお陰で、大きな事故等もなく終業式を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響で1学期は4月23日に、始業式・入学式を短時間で内容を工夫してのスタートでした。始業式の校長先生の話の中で「自分のめあてをもち、何にチャレンジするか考える。」「コロナウイルスに負けない規則正しい生活をする。」「新入生にとって優しい先輩になる。」という3つのお願いがありました。1学期を振り返って、皆さんどうだったでしょうか。きっと一人一人がめあてをもって、できることにチャレンジできたのではないかと思います。

いつもより短い夏休み、新型コロナウイルス感染症対策に気をつけながらではありますが、普段とは違うことを体験したり、いろんなことにチャレンジしたりしてください。そして、2学期始業式にまたみんなが元気よく登校してくれることを楽しみにしています。



7月13日～22日の間に、高等部3年生の現場実習が行われました。コロナウイルス感染症の影響で、例年とは時期や期間が違いましたが、一人一人がめあてをもって、それぞれの場所で実習をがんばりました。実習前の決意表明も大変立派に発表していて、3年生としての自覚が感じられました。写真は、高等部合同の進路学習の様子です。

7月7日にALTのブライアン先生が来校し、今回は主に中学部の皆さんと授業や給食などの時間を通じて交流を行いました。顔や体の部分を表す英語を、体を動かしながら覚えたり、一緒にボウリングをしたり、一人ずつこれまでのお礼のメッセージを書いて渡したりと様々な活動を行い思い出に残った1日でした。ジブリアニメが好きで、中でも「猫の恩返し」が大好きというブライアン先生、次回8月の高等部への訪問が最後となり、その後は帰国される予定です。



中学部2年の齋藤英樹さんが、2学期から新庄養護学校に転校することになり、中学部でお別れ会が行われました。いつも笑顔でまわりの雰囲気を明るくしてくれた英樹さん、新しい場所でこれからもがんばってください！